

個 人 質 疑 発 言 通 告 一 覧 表

令和 8 年第 1 回市議会定例会（現年度関係）

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長	関 係 局 長
1	たてやま 清 隆	日 本 共 産 党		

発言の要旨

- 1 「第 1 4 5 号議案 特別職の職員の給与に関する条例等一部改正の件」について
  - (1) 人事院勧告の内容
  - (2) 本市での提案がこの時期となった理由
  - (3) 改正の内容
  - (4) 対象となる特別職とそれぞれの影響額及び総額
  - (5) 毎月勤労統計調査における直近の実質賃金指数と特徴
  - (6) 他都市の状況
  - (7) 特別職報酬等審議会への諮問の有無と理由
  
- 2 「第 1 4 8 号議案 令和 7 年度鹿児島市一般会計補正予算（第 9 号）」について
  - (1) 重度心身障害者等医療費助成事業費について
    - ① 1 億 5,542 万 5 千円の減額の理由について
      - ア. 7 年度当初の障害種別の受給対象者数の見込みとの比較
      - イ. 助成件数・助成額の 7 年度の実績見込みと 6 年度実績との比較について
        - a. 一般、後期高齢
        - b. 精神障害者
      - ウ. 「支給方式の変更や支給対象の追加等の影響」の有無と助成実績が見込みを下回った要因
    - ② 所得制限の導入による対象者数と 7 年度の影響額
    - ③ 所得確認の同意を得られていない方の数とその影響額
  - (2) 障害児通所等支援事業費について
    - ① 2 億 3,062 万円の増額補正について
      - ア. 7 年度当初の延べ利用者数の見込みとの比較
      - イ. 児童発達支援及び放課後等デイサービスの事業所数と 6 年度との比較（10 月末比較）
      - ウ. 児童発達支援及び放課後等デイサービスの延べ利用者数と同事業費の実績見込みと 6 年度実績との比較
    - ② 放課後等デイサービスの「一部有料化」の影響について
      - ア. 7 年 10 月分の利用実績と前月及び前年同月との比較（利用者数及び給付費）
      - イ. 「利用控え」の実態把握と本市の対応についての見解

(3) 一時預かり事業費について

① 特別保育事業費 1 億 50 万 8 千円の減額補正について

- ア. 減額補正の理由と一時預かり事業（一般型）の国庫補助基準の年間延べ利用児童数ごとの改定内容
- イ. 基準改正により、補助上限が減額となった年間延べ利用児童数区分ごとの施設数
- ウ. 1 施設当たりの利用児童数と補助申請額の 7 年度当初予算と補正予算の比較について
  - a. 一般型
  - b. 幼稚園型
- エ. 国庫補助金の減額の影響を受ける施設の保育士確保への影響の見解

② 乳児等通園支援事業（こども誰でも通園制度）の影響について

- ア. 施設類型ごとの事業所数と定員総数及び一時預かり事業との重複実施状況
- イ. 利用実績の推移と一時預かり事業への影響の有無

(4) 平成 25 年生活扶助基準等の再改定に伴う事務費及び生活扶助費について

- ① 事業概要及び同補正予算の内容と内訳
- ② 「最高裁判決を踏まえた国の対応」の内容と今回の対象者数及び今後の見込数、死亡した原告への対応
- ③ 厚生労働省の最高裁判決への対応策公表を踏まえた「いのちのとりで裁判全国アクション」の緊急声明の内容（2025 年 11 月 21 日）
- ④ 日本弁護士連合会長の声明内容（2026 年 1 月 23 日）
- ⑤ 「最高裁判決を踏まえた国の対応」の評価と原告が容認していないことへの市長見解

(5) 人工島（マリンポートかごしま）関連事業について

- ① 令和 7 年度当初予算から今回の補正予算に至るまでの経過
- ② 港湾施設改良費統合補助事業について
  - ア. 鹿児島港における社会資本総合整備計画の事業内容、期間、事業費
  - イ. しゅんせつにおける本市の負担金のこれまでの経過としゅんせつの実施の有無と理由
- ③ 今回の補正予算の内容について
  - ア. 事業内容と補助の概要
  - イ. 事業費と国・県・市の負担内訳及び本市負担金の財源と償還方法
  - ウ. しゅんせつの実施の有無と今後の工事スケジュール
- ④ 県が着工せず、事業を繰越明許した場合の本市の対応

3 「第 151 号議案 令和 7 年度鹿児島市国民健康保険事業特別会計補正予算（第 3 号）」について

(1) 7 年度国保税率の改定の影響について

- ① 国保税の収納率（現年度分）と収入未済額（現年度分）の 6 年度との比較
- ② 7 年度の被保険者数と世帯数の 6 年度との比較
- ③ 7 年度の国保税率改定による税収増と 6 年度との比較
- ④ 7 年度の国保税率改定に伴い、削減した一般会計繰入金（決算補填等目的）

(2) 本市国保の累積赤字額及び一般会計からの繰入金（決算補填等目的）の増額の理由

(3) 法定外の一般会計繰入金（決算補填等目的）を削減していく方針か、見解

1	たてやま 清隆	日 本 共 産 党
---	---------	-----------

- 4 「第152号議案 令和7年度鹿児島市介護保険特別会計補正予算（第3号）」について
- (1) 介護保険システム運用経費（834万6千円）の目的と内容及び今後のスケジュール
  - (2) 8年1月末時点の第1号被保険者数と給与所得者の占める割合
  - (3) 7年度末の介護給付費準備基金の残高見込み
  - (4) 税制改正の影響を受けた場合、8年度「保険料収入不足」が生じるのか、見解
  - (5) 税制改正により世帯員が住民税非課税となる場合、所得第4段階から第3段階以下に移動できないことへの見解

順序	発 言 者		答弁を求める者	
	氏 名	会 派 名	市 長 関 係 局 長	教 育 長
2	の ぐ ち 英 一 郎	に じ と み ど り		

#### 発言の要旨

##### 1 「第133号議案 美術品購入の件」について

- (1) 草間彌生氏の9千万円の作品を年度末補正の時期に購入議案とした理由
- (2) 本作が「印象派以降の現代に至る西洋美術コレクション」という市立美術館の主軸との連関はあるのか
- (3) 単行議案としての美術品購入は2000年以降何回目か、また、それぞれの価格
- (4) 本作は市立美術館の所蔵品のうち、高額な順で何番目か
- (5) ドットシリーズの過去10年間における取引価格の把握と価格を妥当とする根拠
- (6) 今回の購入は開館70周年記念としての購入か
- (7) 地域ゆかりの複数作品収集との比較など、いかなる選定経過を経た議案か
- (8) 近年、数十年ぶりに開催している現代アート展の費用との比較など、市民が望む企画展を複数開催することは検討したのか
- (9) 作品を購入した場合の収蔵品の作者の男女比の変化
- (10) 御存命の方の作品の男女比の変化
- (11) 県内における個人や団体など官民での同氏の作品の所有状況
- (12) 今、作品はどこにあるのか
- (13) 議決された場合の本作の常設展以外での具体的な活用と集客訴求の見込み
- (14) 市長の草間彌生氏の作品の鑑賞履歴と同氏の影響や功績への認識

##### 2 「第148号議案 令和7年度鹿児島市一般会計補正予算（第9号）」について

- (1) 緑化公園費の花と緑のハーモニー事業の4,379万2千円の繰越明許費追加について
  - ① 繰越理由と事業の内容
  - ② 繰越の要因は事業説明の不足によるものか
  - ③ 特に広馬場の工事は住民等から指摘を受けた後のチラシ配布と仄聞するが事実か
  - ④ 沿線の全世帯配布チラシは、既存の高木を全部根こそぎ伐採すると一読して理解可能か
  - ⑤ 事業予定エリアの広馬場は文化財的な価値をどのように有するか
  - ⑥ 全部伐採の景観変化により過密する電線の顕在化をどのように捉えているか
  - ⑦ 長寿の高木を根こそぎ伐採しない街路樹の在り方をどのように考えるか
  - ⑧ 街路樹再生プラン440路線の事業推進における今回の教訓としての留意点
  - ⑨ 年度内にどこまで伐採を進めるのか
  - ⑩ 広馬場の文化財的な価値と全部伐採前の景観について市長の評価
- (2) 無電柱化推進計画事業費の1億4,366万8千円の減額補正及び繰越明許費1億9,820万円などについて
  - ① これまでの経過及び効果
  - ② 補正予算における現状をどのように捉えているか
  - ③ 国から昨年末に公表された次期計画の骨子案も踏まえた無電柱化の考え

2	のぐち英一郎	にじとみどり
---	--------	--------

(3) 町内会デジタル活用促進補助金の減額 340 万円について

- ①これまでの経過
- ②現状をどのように捉えているか
- ③当局の構想は相対的に時期尚早なのではないか
- ④町内会デジタル活用促進補助金に当事者意向を反映する必要性の認識

(4) 国際交流費における姉妹友好都市等との交流事業費 1,150 万 9 千円の減額について

- ①経過と減額理由
- ②ナポリとマイアミからの訪問とこちらからの訪問の回数
- ③今回の減額に当たり、相互訪問交流の在り方をどのように考えるか

(5) 移住支援金返還金 410 万円について

- ①これまでの経過と返還の累積及び詳細
- ②現状をどのように捉えているか
- ③再発予防の実現をどのように図るか